令和２年度　学校経営計画書

学校番号	1	学 校 名	静岡県立下田高等学校（分校）	校 長 名	齊藤　篤

１　目指す学校像

(1) 教育目標

伊豆半島南部における高校教育の総合的・包括的拠点校というスクール・アイデンティティを掲げ、何事にも誠実に取り組む「至誠」と広く日本や世界で活躍する「雄飛」、及び地域のために尽くす「献身」をこころざしにできる人間を育てる学校を目指す。そのために、生徒を大切にし、知・徳・体の人間性を練磨して、進路実現と自己実現を図る。

(2) 目標具現化の柱

ア　すべてに優先する安心安全な学校づくり
　(ｱ)　事故、トラブルのない学校づくり
　(ｲ)　防災体制の充実
イ　基本的な生活習慣を確立させ、自立心を持った生徒を育てる生徒指導の充実
　(ｱ)　積極的な挨拶の励行
　(ｲ)　特別活動の充実
　(ｳ)　常識ある規範意識や心身の健康を図る意識の向上、自己管理能力の育成
　(ｴ)　図書環境の充実整備と朝読書習慣の定着
ウ　地域の特性を活かし、農業の多面性を活用した学習の展開
　(ｱ)　地域人材の活用
　(ｲ)　農業クラブの積極的活動
　(ｳ)　ＥＳＤ活動の充実
　(ｴ)　生徒の学力向上に向けた授業改善の実践
エ　積極的な地域貢献
　(ｱ)　地域行事、地域防災等への積極的な参加
　(ｲ)　一個人一交流の実施
オ　個に応じた丁寧な進路指導
　(ｱ)　計画的なキャリア教育の展開
　(ｲ)　特別支援教育の充実及び基礎学力の定着
　(ｳ)　地元企業等への積極的なアピール及び連携
カ　教育活動の地域への積極的情報発信
キ　学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質能力向上の推進
ク　働き方の見直しを図り、働きやすい職場の構築
　(ｱ)　職員の積極的な休暇取得の促進、教職員間の積極的なコミュニケーションを促す
　(ｲ)　職場環境の充実
ケ　教育目標達成のための適切な財務執行

２　本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	すべてに優先する安心安全な学校作り	事故、トラブルのない学校づくり	○登下校時の交通事故０件 ○いじめアンケート年３回・重大事案発生０件 ○教職員の不祥事０件、長期欠席０人	生徒課 （保健課） （教育相談）
		防災体制の充実	○防災訓練年間２回を軸とした自助・共助体制の確立	総務課
イ	**基本的生活習慣を**	積極的な挨拶の励行	○登校指導と職員室入室時指導の実施	生徒課

	確立させ、自立心を持った生徒を育てる生活指導の充実	特別活動の充実	○コミュニケーション能力向上プログラムを LHR 等で年５回以上の実施	生徒課
		常識ある規範意識や心身の健康を図る意識の向上、自己管理能力の育成	○年間を通した言葉遣い、服装・礼節など全般的なモラル・マナーの指導 ○授業を大切にし、学習習慣を身につけ、提出物の期限を尊守する生徒 70%以上 ○長欠・不登校０とし、出席率 98%以上	生徒課 教務課 進路課
		図書環境の充実整備と朝読書習慣の定着	○読書会を年１回実施 ○図書室の機能向上と貸出数 80 冊	図書係
ウ	**地域の特性を生かし、農業の多面性を活用した学習の展開**	地域人材の活用	○地域機関や人材との連携を 20 回以上	農場課
		農業クラブの積極的活動	○全国大会（静岡）の運営成功 ○県大会（意見・プロジェクト）各３部門出場、入賞２件以上	
		ＥＳＤ活動の充実	○ＥＳＤの趣旨を踏まえた、授業の実施	
		生徒の学力向上に向けた授業開始の実践	**○令和４年度教育課程の作成とシラバスの改善** **○学びの基礎診断の実施と検証** ○ＧＡＰ教育を踏まえた農場整備の実施と実習形態（作付け面積等）の見直し	教務課 農場課 進路課
エ	積極的な地域貢献	地域行事、地域防災等への積極的な参加	○地域防災訓練参加率 50%以上	総務課
		一個人一交流の実施	○生徒がｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ、職場見学を通して、地元企業・産業への理解を深める。 ○生徒の主体的な地域貢献交流参加１回以上	教務課 進路課 農場課
オ	個に応じた丁寧な進路指導	計画的なキャリア教育の展開	○年度末までに進路の方向性を決める生徒（１年 60・２年 80・３年 100%）	進路課
		特別支援教育の充実及び基礎学力の定着	○学期毎の面談と生徒情報の教員間共有 ○基礎学力テストの実施と検証のため研修・アンケートの実施	生徒課 （保健課） （教育相談） 教務課
		地元企業等への積極的なアピール及び連携を図る	○法人会、企業等と連携した、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ、職場見学の実施	進路課
カ	教育活動の地域への積極的情報発信	マスコミ等への積極的な情報提供	○分校だよりを年間 10 回発行 ○ホームページの日記更新年間 50 回	総務課
キ	学校の組織力を高めると共に、教職員の資質能力向上の推進	育成指標に基づいた研修の充実	○チーム研修を年間３回 ○職員会議等を利用したミニ研修年間８回	教務課 （研修） （管理職）
ク	働き方の見直しを図り、働きやすい職場の構築	教職員の積極的な休暇取得の促進、教職員間の積極的なコミュニケーションを促す	○夏季休暇以外に年休３日以上の取得者 80%以上	管理職 （保健課）
		職場環境の充実	○充実改善要望の実現５件	
ケ	教育目標達成のための適切な財務執行	年末、年度末を見越し予算計画、迅速な会計執行を目指す	○経営予算の 12 月末までの執行率を 60%以上 ○小規模修繕費の 12 月末までの執行率を 60%以上 ○施設設備の不備による事故が０件 ○情報流出０件	事務部